

【天文講演会】

日本流星研究のパイオニア

「小楨孝二郎先生と

日本流星研究会」



明治 36 年岡山県津山市に生まれる。

岡手で教職に就くが、結婚を機に和歌山へ移り、大正 14 年鳥屋城小学校へ赴任。その後耐久中学校・御霊中学校の校長や金屋町教育委員長を歴任した。

昭和 10 年には、日本初の流星総合研究書となる「流星の研究」を出版する。研究論文や観測結果を多数発表するなど活躍を続けた。

昭和 18 年、金屋町を拠点に紀伊天文同好会(現在の日本流星研究会の前身)を設立し、全国の流星観測の組織的活動を牽引する。昭和 32 年「国際地球観測年」に、人工衛星の共同観測金屋観測班を編成し、指導にあたる。その観測精度の高さに、アメリカのスミソニアン天文台から感謝状が贈られた。

生涯の流星観測数は実に 25,000 回以上にもおよび根気と努力の人であった。宇宙時代を迎えてより一層の活躍が期待されたが、昭和 44 年、66 歳の生涯を閉じた。

講師

日本流星研究会 会長 小関正広氏

とき：平成 30 年 9 月 8 日 (土)

開演午後 4 時 (開場午後 3 時 30 分)

ところ：金屋文化保健センター

(有田郡有田川町金屋 7)

参加費は無料で、事前申し込みも不要です。お気軽にお越しください。

主催：有田川町天文クラブ 後援：有田川町教育委員会

協力：日本流星研究会第 59 回流星会議実行委員会

お問い合わせ：有田川町教育委員会社会教育課 TEL52-2111